

一般財団法人 日本穀物検定協会



会長 井出 道雄

ご挨拶

日本穀物検定協会は、昭和 27 年 2 月に米穀等の流通の円滑化に資することを目的として社団法人東京穀物検定協会が設立され、引き続き各地に社團組織による協会とその支部が設立されました。

昭和 30 年、全国に設立された社團組織を発展的に解散し全国統一した財団法人として再発足し、更に公益法人制度改革により平成 24 年に「一般財団法人」へ移行しました。

創立以来約 70 年にわたり、農産物、飼料、食品などの幅広い分野で検査・検定、理化学分析をはじめ、安全安心のための品質の評価、情報提供などの事業の拡大に取り組み、第三者検定機関としての役割と使命を果たしております。

現在の事業は、公益目的事業の米の食味評価に関する試験研究をはじめ、農産物検査、農産物検査員育成研修、政府所有米穀の確認業務、情報提供システム、飼料・包装証明、JAS 認証、残留農薬・カビ毒・微生物・放射能・重金属・米の品種鑑定、原産国判別、栄養成分、小麦や大豆の加工適性試験、計量管理、米の食味官能試験のほか、中国検査機関との技術交流及び業務提携など多方面にわたっております。

今後とも協会は、消費者や関係事業者の皆様方のご要請に十分お応えするよう、事業の一層の拡充強化を図り、役職員が一丸となって適正で迅速な業務の推進に更なる努力をしております。

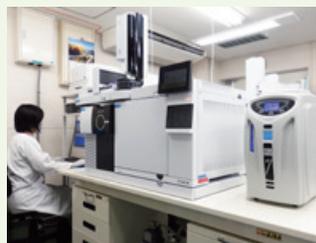
理化学分析

残留農薬・カビ毒等の検査

農産物・飼料・食品等の品質評価や安全性の確保に関する分析証明が求められています。

このため多方面からの要請に積極的にお応えして、理化学分析により、残留農薬、カビ毒、微生物、放射能、重金属、米の品種鑑定、原産国判別、栄養成分、穀物の加工適性、容器包装等の検査を行っています。

これらの各種の理化学分析は、研究所、分析センターで最新の技術と機器、設備を用いて、公平、公正、迅速に実施しています。



残留農薬検査
ISO/IEC17025 取得



カビ毒検査
ISO/IEC17025 取得



微生物検査



放射能検査
ISO/IEC17025 取得



重金属検査
ISO/IEC17025 取得



米の品種鑑定

理化学分析



原産国判別



栄養成分検査
ISO/IEC17025 取得

小麦の加工適性試験

小麦の品質評価のため、小麦の品質試験と製粉試験により原料小麦の製粉特性を、小麦粉品質試験と小麦粉生地物性試験により小麦粉の加工適性の試験を行います。



大豆の豆腐加工適性試験

原料大豆の良質加工のため、原料大豆から豆乳・豆腐を製造し、その過程での大豆成分分析、豆乳抽出試験、豆腐加工試験のほか、官能試験を行います。



○理化学分析のお問い合わせ、ご依頼は、
本部 連絡調整グループ
TEL.03-3668-0911 FAX.03-3668-0058
E-mail : rencho-g-hed@kokken.or.jp

米の食味試験

お米の食味を官能試験と理化学分析の両面から追求し、評価しています。

食味ランキング事業

生産面に対する良食味米の発掘及び開発と生産振興への活用、消費面に対する消費者の嗜好に対する米の購入への参考となる情報の提供を目的として、全国規模の産地品種について毎年専門の評価員である食味評価エキスパートパネルによる官能試験を行い、基準米との比較により「外観」「香り」「味」「粘り」「硬さ」「総合評価」について評価した結果に基づき「特A」「A」「A'」「B」「B'」の5段階にランク付けし、「米の食味ランキング」として発表しています。



- ランク区分
(基準米と比較して)
- 特A 特に良好
 - A 良好
 - A' 概ね同等
 - B やや劣る
 - B' 劣る

食味官能試験

全国の試験研究機関や生産者団体などの皆様方からのご依頼に基づき、良食味米の開発や商品に応じた好適米の選抜などを目的として、「米の食味ランキング」と同様に専門の評価員である食味評価エキスパートパネルによる官能試験を行い、結果を数値及びランクによりご報告しています。



- 評価項目
- 総合評価
 - 外観
 - 香り
 - 味
 - 粘り
 - 硬さ

報告例 (数値)

基準米：令和〇〇年産 (複数産地コシヒカリのブレンド米)

供試料	総合評価			外観	香り	味	粘り	硬さ
	評価値	信頼区間	有意差					
〇〇年産 〇〇県産 コシヒカリ	0.300	±0.268	+	0.500	0.400	0.300	0.250	-0.250

○米の食味試験のお問い合わせ、ご依頼は、

本部 業務グループ

TEL.03-3668-0911 FAX.03-3668-0058

E-mail : gyomu-g-hed@kokken.or.jp

計量管理業務

計量法に基づく適正計量管理事業所としての指定及び計量証明事業者としての登録を受け、適正な計量管理業務を行っています。



基準天秤

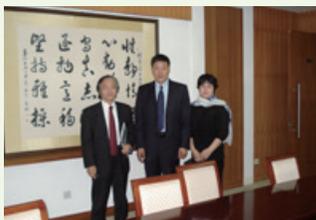


計量管理

計量管理についてのご依頼は、各支部にお問い合わせ下さい。

中国との技術交流と協力事業

日中両国の貿易の発展のため検査検疫の分野で情報交換や技術交流、業務提携を推進しています。



元 AQSIQ (中華人民共和国国家質量監督検査検疫総局) との交流



CAIQ (中国検験検疫科学研究院) との技術交流



北京連絡事務所開所10周年記念式典



日中第三者品質確認蜂蜜のマーク

Japan Grain Inspection Association

ごあんない

一般財団法人 日本穀物検定協会

JAS 認証

JAS制度は、食品・農林水産品やこれらの取扱い等の方法などについての規格を農林水産大臣が制定して、第三者登録認証機関が工場等での生産行程や製品が規格を満たしているか審査し、認証を受けることによりJASマークを当該食品・農林水産品や事業者の広告などに表示できる制度です。

当協会は、品質取扱業者、有機農産物及び有機加工食品、低たん白加工処理玄米の包装米飯のJAS登録認証機関として、公平、公正、迅速にJAS規格の適合性を審査し、認証しております。



○JAS 認証業務のお問い合わせ、ご依頼は、
本部 表示・規格グループ
 TEL.03-3668-0911 FAX.03-3668-0058
 E-mail : jas-crl@kokken.or.jp

農産物検査

農産物検査法に基づく登録検査機関として、多くの農産物を厳正に検査しています。

外国産農産物検査

輸入業者の皆様方からの検査請求にお応えし、経験豊かな検査員を全国の港に配置し、万全の体制で品位等の検査を行っています。



外国産小麦検査

国内産農産物検査

生産者及び売買取引業者の皆様方からの検査請求にお応えし、全国で米麦及び雑穀類等品位等検査を行っています。

また、JA等の登録検査機関と共同で行う検査(協調検査)も実施しています。



国内産米検査

成分検査

輸入業者、生産者及び売買取引業者の皆様方からの検査請求にお応えするため、各検査施設において米麦の成分検査を行っています。

小麦たん白質検査については、近赤外分析計の導入により検査の迅速化を図っています。また、検査毎に精度管理を実施し、分析値の信頼性を確保しています。



たん白質検査

成分検査の項目	対象	検査項目
	米	たん白質・アミロース
	小麦	たん白質・でん粉

農産物検査員育成研修

確かな検査員の育成及び検査技術の維持向上のために当協会には次のような研修メニューがあります。

- 国内産農産物検査コース
- 外国産農産物検査コース
- 飼料用米検査コース
- 鑑定研修会
- 講師派遣
- 試料の作製



国内産農産物検査コース 基礎課程



外国産農産物検査コース 現場実習課程



講師派遣



試料の作製

一般財団法人 日本穀物検定協会

https://www.kokken.or.jp
E-mail info-hed@kokken.or.jp



本部 関東支部
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 15-6 (製粉会館 3 階)
(本部) 業務グループ、検査グループ、連絡調整グループ、表示・規格グループ
TEL.03-3668-0911 FAX.03-3668-0058
(関東支部) 業務課、検査課
TEL.03-3668-0931 FAX.03-3668-1913

北海道支部
〒003-0808 札幌市白石区菊水 8 条 3-1-24
業務課、検査課
TEL.011-831-6191 FAX.011-831-6193

東北支部
〒983-0842 仙台市宮城野区五輪 1-17-46
業務課、検査課
TEL.022-257-0804 FAX.022-257-0825

中部支部
〒455-0032 名古屋市港区入船 1-3-33
業務課、検査課
TEL.052-651-0151 FAX.052-651-0157

関西神戸支部 神戸分析センター
〒651-0084 神戸市中央区磯辺通 1-1-37
(関西神戸支部) 業務課、検査課
TEL.078-265-1177 FAX.078-265-1894
(神戸分析センター) 品質規格分析グループ
TEL.078-265-1063 FAX.078-265-1233

九州支部
〒812-0032 福岡市博多区石城町 7-23
業務課、検査課
TEL.092-281-6571 FAX.092-281-6580

中央研究所
〒272-0144 市川市新井 2-17-3
研究開発グループ、残留農薬分析グループ
TEL.047-356-8711 FAX.047-356-8714

東京分析センター
〒135-0043 東京都江東区塩浜 1-2-1
バイオグループ、有害物質分析グループ
TEL.03-3644-6410 FAX.03-3644-6738

北京事務所
〒100125 北京市朝陽区麦子店西路3号新恒基國際大廈 11 階 1105 室
TEL.+86-10-85288408 FAX.+86-10-85288409

飼料・包装証明

専門的な知識や知見を活かし、飼料の適正加工の確認証明、国内産米麦等の包装容器の規格の確認証明を行っています。

飼料の証明

飼料用として政府売渡及び優遇税制措置を受けた外国産飼料用麦が適正に加工されているかを確認し、量目・数量・品位・加工形態等の証明を行っています。

また、優遇税制措置を受けた飼料用とうもろこし等が確実に変形加工されたことの証明を行っています。



サンプル採取

包装の証明

国内産米麦の包装容器（麻袋、樹脂袋、紙袋、ポリエチレンフィルム袋）の材料、形状等が包装規格に適合しているかを確認し、証明を行っています。

また、紙袋の TEA（引張試験におけるエネルギー吸収力の測定値）の測定も実施します。



形状の確認



紙質の確認
(自動紙質測定器オートライン 400)

農産物検査の事前確認において、当協会の紙袋合格マークを確認すれば、農産物規格規程に定める規格に適合していることが判定できます。



紙袋合格マーク

○飼料・包装証明のお問い合わせ、ご依頼は、
本部 業務グループ
TEL.03-3668-0911 FAX.03-3668-0058
E-mail : gyomu-g-hed@kokken.or.jp

情報提供システム

情報提供マーク



お米や米粉等について、品質、安全性、産地等を確認し、情報提供マークから Web を通じてパソコン、スマートフォンにより正確な確認情報を提供しています。



基本情報(産地情報)



- 産地の特徴、栽培のこだわり、栽培期間中の圃場の様子などについて、産地関係者等から提供された情報を基に画像とコメントで紹介
- 商品特有のストーリーを伝える

安全性



- 放射性物質、残留農薬、カドミウム等の検査結果
- 原料玄米・製品精米の安全性への取り組みを提供

品質・特性



- 製品の品質(品種、鮮度、品位等)の確認結果
- 製品の品質管理の取り組みを提供
- 「硬さ」「粘り」など、コメの特徴を指標化
- 鮮度保持など、品位品質の確かさを訴求

○情報提供システムのお問い合わせ、ご依頼は、
本部 業務グループ
TEL.03-3668-0911 FAX.03-3668-0058
E-mail : gyomu-g-hed@kokken.or.jp